

令和2年度 決算報告書

国立大学法人北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,311	2,401	90	(注1)
施設整備費補助金	188	206	18	(注2)
補助金等収入	107	272	165	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	15	10	△5	(注4)
自己収入	1,249	1,176	△73	
授業料、入学料及び検定料収入	1,170	1,094	△76	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	79	82	3	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	171	359	188	(注7)
引当金取崩	—	3	3	(注8)
目的積立金取崩	120	82	△38	(注9)
計	4,161	4,509	348	
支出				
業務費	3,680	3,510	△170	
教育研究経費	3,680	3,510	△170	(注10)
施設整備費	203	216	13	(注11)
補助金等	107	192	85	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	171	299	128	(注13)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	4,161	4,217	56	
収入－支出	—	292	292	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費が交付されたことにより、予算額に比して決算額が90百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった施設整備費補助金の獲得により、予算額に比して決算額が18百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が165百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、予算段階では予定していなかった工事計画の変更により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階で予定していた授業料収入が授業料等減免費交付金として補助金等収入に含まれたこと等により、予算額に比して決算額が76百万円少額となっていま

す。

- (注6) 雑収入については、科研費間接経費等の増加により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が188百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、引当金によるPCB処分費用の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた事業の見直しにより、予算額に比して決算額が38百万円少額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと及び新型コロナウイルスの影響により出張等の経費が減少したことにより、予算額に比して決算額が170百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注2)(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が85百万円多額となっています。
また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が79百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しているため、補助金等収入決算額と一致していません。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が128百万円多額となっています。